

## ▼プロピタン錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 ピバンペロン塩酸塩 (フロロピバミド塩酸塩) pipamperone hydrochloride (floropipamide hydrochloride) 【分類】 統合失調症治療剤 [ブチロフェノン系]

【単位】 ▼50mg/錠

【常用量】 初期量 50～150mg/日, 漸増し維持量 150～600mg/日

【用法】 分割投与

【透析患者への投与方法】 データがなく不明 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 データがなく不明 (5)

【特徴】 ブチロフェノン系で急性・慢性統合失調症の幻覚・妄想など異常体験を早期に消退させ, 不安, 緊張, 興奮などの症状にも精神抑制作用を示す。

【主な副作用・毒性】 悪性症候群, 腸管麻痺, SIAHD, 血球減少, 血栓症, 肝障害, パーキンソン症候群, アカシジア, ジスキネジア, 頻脈, 血圧低下, 眼の調節障害, 長期又は大量投与による角膜・水晶体の混濁, 角膜等の色素沈着, 光線過敏症, 高プロラクチン血症, 体重増加, 消化器症状, 焦躁感, 不眠, 眠気, 眩暈, 頭痛, 口渇など多数。

【安全性に関する情報】 自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させない (1) 低体温症の症例 (Eikenboom HC, et al: Ned Tijdschr Geneesk 141: 301-303, 1997 [abstract]) 主な中毒症状は, 重症の錐体外路症状, 低血圧, 過度の鎮静で, まれに QT 延長, 心室性不整脈 (Torsades de pointes を含む), 心停止があらわれることがある (1)

【F】 資料なし (1)

【tmax】 3～4hr [ウサギ] (1)

【代謝】 脱アミド体に代謝 (1)

【排泄】 尿中回収率 90% [ラット] (1)

【t1/2】

【蛋白結合率】 資料なし (1)

【Vd】 資料なし (1)

【MW】 448.40

【透析性】 資料なし (1)

【OW 係数】 資料なし (1)

【相互作用】 アドレナリンの血圧反転 (1)

【更新日】 20170112

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果, 直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。